

2026年

6月

# 瀬戸蔵ミュージアム

Setogura Museum

瀬戸のやきものづくりの総合ミュージアム  
やきもののまち瀬戸を体感できます  
(入口は瀬戸蔵の2階です)

## 催物案内



### 企画展示室

瀬戸蔵ミュージアム企画展

## 「新出土品展—日進市・長久手市・尾張旭市の窯跡調査の記録—」

(公財)瀬戸市文化振興財団が日進市、長久手市(旧長久手町)、尾張旭市での窯跡調査に関わる成果を基に、瀬戸窯では認められない事例を紹介します。展示される出土資料は、「瀬戸焼 1000年の歴史」を解明する上でその礎となる所見も含まれており、「瀬戸焼」誕生に影響を与えた古代・中世猿投窯における生産内容の一端をご覧ください。

6月28日(日)まで

### 中央通りギャラリー

瀬戸蔵ミュージアム企画展

## 「天草のやきもの」

熊本県天草市は豊かな自然だけでなく陶石や陶土にも恵まれ、17世紀頃から陶磁器が生産されてきました。また、瀬戸の磁祖である加藤民吉が磁器技術の修業を行なった地であるという歴史的なつながりもあります。

本展では、天草陶磁器の島づくり協議会加盟の窯元12軒による、「現在の天草のやきもの」を紹介します。

6月14日(日)まで



水の平焼

### 旧尾張瀬戸駅構内

そとぼりせん

## 「せとでん 外濠線廃止から50年」

かつて名鉄瀬戸線の土居下駅から堀川駅(終点)の区間は、名古屋城のお堀の中を走るという「お堀電車」として親しまれていました。しかし堀川運河を介しての貨物輸送の需要が減少したことなどから1976年(昭和51)、お堀区間はその役目を終えます。外濠線廃止から50年の節目となる今年、在りし日の姿を振り返ります。

2027年4月15日(木)まで



堀川駅で新聞の積み込み作業  
1975年(昭和50) 撮影:山田 司



開館時間: 9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

入館料: 一般: 520円、65歳以上・高校生・大学生: 310円

中学生以下・妊婦・障害者手帳(ミライロID可)をお持ちの方: 無料

年間パスポート: 一般1,570円、65歳以上・高大生940円

### 6月22日(月)は休館日です

お問い合わせ 瀬戸蔵ミュージアム 電話 0561-97-1190

